本渡港周辺環境整備基本計画実現に向けての

要　望　書

令和６年９月

熊本県天草市

本渡港周辺環境整備基本計画実現に向けての要望

天草地方は、昭和 41 年 9 月に天草五橋が完成し、九州本土と結ばれるまで離島であり、港を中心に物流が発展してきました。

本渡港も瀬戸海峡（天草瀬戸）開削工事が完了し、有明海と不知火海を結ぶ航路が確保されたことに伴い、物流の要衝として発展しました。

人口減少や交通機能の多様化など、社会情勢の変化に伴い、本渡港の貨物取扱量、旅客利用者数は年々減少し、港が本来持つ活気が薄れてくる中、港湾機能の変革と充実に向けて、本渡中心市街地も取り込んだ「みなとまちづくりプロジェクト」を設立し、平成 25 年 8 月には、本渡港の未来像やみなとを核とした地域活性化を推進するための「本渡みなとまちづくり基本構想」を策定するとともに、ハード面の整備に関する「本渡港に関する提言書」を熊本県に提出したところです。

その後、道路網の整備が進められ、天草未来大橋を含む熊本天草幹線道路「本渡道路」、1.3ｋｍが令和 5 年 2 月に供用開始されております。

本市では、現状を踏まえるとともに、これまでの提言等を基に、本渡港において市民や来訪者が、人との交流、地場産業や地域資源等に触れて天草の魅力に出会うと同時に、天草中を巡りたくなるような仕掛けづくりの起点となることを期待し、観光交流、陸と海の交通拠点としての施設整備の方向性等を明確に示した、「本渡港周辺環境整備基本計画」を本年 4 月に策定しました。

本計画では、「港から始まるまちの再生」を事業テーマに、市民や来訪者が、新しい学びや出会い、新しい体験やモノに触れることができるエリアを整備し、天草の新しいまちづくりの出発点として、天草の陶磁器をはじめとした様々な魅力ある資源を紹介、体験することができる“インデックス機能”を持たせ、ここから天草全体に足を運んでもらうような仕掛けを創ることで、市内全体への回遊性の向上をも果たせるような豊かな未来へのハブとなり、「新たなモノ・コトの生まれる場所」としていくことを目指しています。

また、かつては地域の物語の始まりの地であった本渡港を取り戻すべく本計画の推進に取り組む必要があると考えており、本渡港周辺環境整備のコンセプトを「モノ・ヒト・コトを結ぶ場所 新しい『みんなの驛（えき）』」として、新たな「港」拠点として再生することとしています。

本計画を、天草市全体のまちづくりの起爆剤として捉え、官民連携のもと取り組んでいくこととしておりますので、下記の事項について特段のご高配を賜りますよう要望いたします。

記

1. 本渡港周辺環境整備基本計画に記載する事項の本渡港港湾計画書への反映
2. 本渡中心市街地活性化の取組への協力

令和 6 年 9 月 5 日

天草市長　馬場　昭治